

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社グラフィック竹田第四工場	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区下鳥羽東芹川町	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 0.0	評価の実施日	2018年6月14日
敷地面積	17,715.61 m <sup>2</sup>	作成者	石原一豊
建築面積	5,859.43 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月14日
延床面積	18,652.16 m <sup>2</sup>	確認者	石原一豊



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	68%
③上記+②以外の	64%
④上記+	64%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項	
総合	生産工場として、合理的な設備設計および、内外装設計とした。
その他	
Q1 室内環境	24時間稼働のため、すべてLED照明とした。温湿度環境が一定に保てるように、外壁はALCとペアガラスサッシ+ロールスクリーン、屋根は外断熱とした。換気設備については、住宅が接近している東側に給気口を
Q2 サービス性能	設備更新が容易となるように、天井機を1m以上確保した。また、構造体に傷をつけずに更新ができるように、あらかじめ十分な梁貫通孔を設けた。
Q3 室外環境 (敷地内)	太陽光発電設備、緑地・透水性舗装合わせて、敷地全体の25%確保し、内20%以上の緑地を確保した。
LR1 エネルギー	全ての窓を複層ガラスとし、外壁はALC、屋根はウレタンフォームの断熱とすることで、空調の負担を軽減し省エネ性能の高い建物とした。
LR2 資源・マテリアル	トイレ等衛生器具は節水型とした。内装の一部に地域産木材を利用した。
LR3 敷地外環境	建物前面に大型車が待機できる駐車場を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される